
GW2050 PROJECTS グランドデザイン発表について

「GW2050 PROJECTS 推進協議会」（2024 年 8 月設立）は、返還が予定される那覇港湾施設、牧港補給地区、普天間飛行場周辺エリアに加え、観光・産業の玄関口である那覇空港を「価値創造重要拠点」と位置づけ、次代の沖縄の進化を象徴する「世界に開かれたゲートウェイ」として具現化を図るための調査・検討を進めています。

2 年間の調査・検討の初年度である 2024 年度は、沖縄県の現状や課題を整理し、世界の潮流や沖縄の強みを踏まえた産業構造モデル、県民所得を押し上げる人材育成の在り方、県全体の生産性向上や離島の過疎化、交通課題へのアプローチ等について全県俯瞰的な視点で調査・検討を行い、グランドデザインを策定いたしました。

2025 年度は、各返還予定地の跡地開発における機能・役割を明確にし、那覇空港の機能拡充と相乗的な振興・発展を実現する成長戦略の策定に取り組んでまいります。

■お問い合わせ先

GW2050 PROJECTS 推進協議会 事務局

Mail : contact@gw2050.okinawa

GW2050 PROJECTS 推進協議会 グランドデザイン概要

■課題と取り組みの方向性

- 沖縄県は日本復帰後、道路や空港などの社会インフラ整備や人口増加を背景に成長を遂げてきましたが、依然として低所得水準や交通渋滞、離島過疎化などの課題があります。
- これらの課題に対し、GW2050 では全県俯瞰的な視点から県内総生産の拡大や労働生産性の向上などを図りながら、県民のより良い暮らしを実現するための、取り組みの方向性を整理しました。

■成長目標

- 2050 年度の名目県内総生産 11 兆円、一人当たり県民所得 624 万円

■成長目標の達成に向けて

- 世界の産業潮流や沖縄の強みを踏まえた、「既存産業の高付加価値化」や「ブルーエコノミー（養殖技術・船舶 MRO など）」、「先端医療（遠隔医療・医療サイエンスパークなど）」、「航空・宇宙」などの新たな産業創出に取り組みます。
- 産業展開を見据え、産業界が主体となって「経営マネジメント能力向上」や「成長産業の専門人材育成」、「次世代を担うグローバル教育」などの人材育成に取り組みます。
- 島しょ特性を踏まえた環境対応や沖縄独自の制度設計などに取り組みます。
- OIST や台湾経済界との戦略的パートナーシップ構築に取り組みます。

・添付資料：GW2050 PROJECTS グランドデザイン（パンフレット）